

～大学のあるまちづくり  
市民公開講座～

# 2012年度 成美市民大学

## 大学連携 市民公開講座 (緊急雇用創出事業) 報告書



福知山市

・

成美大学



## 大学連携 市民講座について

- ◆ 成美大学は、大学連携市民公開講座（緊急雇用創出事業）として、福知山市と業務委託契約を締結し、業務仕様書に基づき市民公開講座を開催した。この事業は、福知山市と公私協力方式により開学した本学とが連携し、「知の拠点」である大学の機能を活かした様々な分野の「市民公開講座」を開催することにより、地域住民の学ぶ機会を創出し、教養と文化の向上を図ることを目的とする。事業概要は、以下のとおり。

<p>(1) 市民向け公開講座</p> <p>講師を選定し、5回以上開催すること。</p> <p>また、特別講座として学外からの講師等を招聘した講座を1回以上開催すること。</p>
--

- ◆ 市民向け公開講座について
  - (1) 名称については、「～大学のあるまちづくり 市民公開講座～2012 年度 成美市民大学」として開催した。
  - (2) 2月～3月は、福知山の“まちなか”に焦点をあて、現在、過去そして未来へむけて学び、新たに確認をする講座を計3回開催した。
  - (3) 開催日、講師、講演内容、及び受講者数は以下の通り。

開 催 日	テ ー マ	講 師	受講者数
2012年12月1日(土) 10:00～11:30	「日本とインド、永遠の友達!!」	チャイタンニャ・バンダーレ 氏	35
2013年2月9日(土) 10:30～12:00	「私の指導法について」	成美大学サッカー部 監督(客員教授) 草木 克洋 氏	36

“ふくちやま まちなか いまむかし” シリーズ

2013年2月18日(月) 13:30～15:00	第①回シンポジウム 「福知山の春を彩る『ふくちの春は雛荒らし』の取り組みと まちなかの活性化について語る。」 <コーディネーター> 成美大学経営情報学部 准教授 滋野浩毅 氏 <パネリスト> 城下町を考える会 会長 大谷 勇 氏、中村 邦夫 氏、横川 知子 氏(まいまい堂)	31	
2013年2月23日(土) 13:30～15:00	第②回 「福知山藩校の貴重な資料について語る」	福知山史談会 会長 山口 正世司 氏	62
2013年3月2日(土) 13:30～15:00	第③回 「福知山の風景や歴史をデジタル化しよう (デジタルアーカイブスのすすめ)」	成美大学経営情報学部 教授 芦田 信之 氏	41



# 報 告

【第1回 ～大学のあるまちづくり 市民公開講座～ 2012年度 成美市民大学】

1. 日時 2012年12月1日(土) 10:00～11:30
2. 場所 成美大学4号館 103講義室
3. テーマ 「日本とインド、永遠の友達!!」
4. 講師 チャイタンニャ・バンダーレ 氏
5. 受講者 35名
6. 内容



チャイタンニャ・バンダーレ氏は、2006年に文部科学省奨学金留学生として京都に来日、今年3月まで京都大学舞鶴水産実験所で海洋生物学、ヒラメの研究をしていたことの紹介があった。その後、日本とインドの歴史が紹介された。

昔からインドと日本のつながりは深く、東大寺にはインドからの僧侶が来ていた。近代でもお互いにサポートしてきた。中でも、スバーシュ・チャンドラ・ボースは有名で、1941年から1945年に9回も来日し、インドを独立させる為に日本軍隊と共に英軍と戦った人である。極東軍事裁判では、インドのラダ・ビノード・パール判事が日本人戦犯全員無罪を主張し、日本に不利なサンフランシスコ講和条約には参加せず、1952年に日印平和条約を結んだ。この日印平和条約60周年記念イベントとして“舞鶴日印友好交流祭典2012”が開催され、インドのアウランガバードの市長が招待された。アウランガバードは、植民地時代前の首都で、185万人の大都市である。市長は、1000年前と800年前、500年前の古いレンガを舞鶴に持って来た。

続いて、インドのアウランガバードで日印交流のイベントを企画した。インドのお母さんを意味する言葉“愛(アイ)”が、テーマとなった。このイベント関連の事業として、90万人の参加する大掃除が実施された。イベント後、8月25日は大掃除の日となり、「おおそうじの日」と日本語調に発音するようにバンダーレ氏が提案した。

インドのイベント会場で、「がんばろう東北、インドも応援しています」という垂れ幕を出すと、参加した日本人達は涙ぐんでいた。「言葉が通じなくとも、心でつながることが重要である」とバンダーレ氏は講座を締めくくった。

## 7. アンケート集計結果

### 【アンケート実施概要】

受講者	35人	
性別	男性：26人	女性：9人
回答者	19人	
回収率	54.2%	



### 【Q1】「日本とインド、永遠の友達!!」について

1. 内容はどうでしたか。

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
10	7	1	0	0

※回答なし：1

## [感想]

- ・大変理解しやすく、身近な話題を豊富にお話し頂き、インドの庶民の暮らしが理解できました。(80代男性)
- ・インドの事情がよくわかり大変参考になった。(80代男性)
- ・話の中に温かい人柄が出ていた感じで楽しかったです。お話が上手にまとめてありわかりやすかったです。(40代女性)
- ・ご自身の日常のご活動から日本での体験、カルチャーショック、インドと日本の架け橋としてのご活動について等、盛りだくさんでとても良かったです。(20代女性)
- ・色々学習させて頂けて良かった。(60代女性)
- ・グローバル化やインドの底力を思い知らされた。インドは教育に対する構えが優れており、これからのインドをみつめていきたい。(80代男性)
- ・日本とインドは昔から世界平和のために協力してきたので、これからも更にお互いの文化を理解し受け入れ、共同して世界平和のために尽くすべきだと思った。(80代男性)
- ・色々インドと日本の文化を理解することができました。(70代女性)
- ・もっともっと知りたい事が出てきました。先生のバイタリティーを感じ自分の力にしていきたいと思いました。(60代男性)
- ・舞鶴日印友好交流祭典を立ち上げる実行力は素晴らしいと思った。価値観の違いを理解するには、時間が必要だと思う。(80代男性)
- ・文化の違う異国出身の方の話をお聞かせってもらうのは、目先の違うこと、気付くことがあり楽しいです。英語はじめ外国語が喋れるようになる時代が来ている感じがします。(50代男性)
- ・庶民的な交流について、具体的にユーモアを交えてのお話で良かった。競争することの大切さを感じました。(60代男性)
- ・インドの独立に日本が深い関わりを持っていたことや、日本への象の贈り物の真の意味を改めて理解できた。インドのラダ・ピノード・パール判事が日本人戦犯の無罪を主張した極東軍事裁判に関する写真を見ることができて良かった。また、今までチャイタンニヤ氏が日印友好のために進めてきたことについて知ることができた。(70代男性)
- ・大変しっかりした考え・ポリシーを持っておられることに驚いた。日本は教育にもっと力を入れないと大変なことになると思います。(50代男性)
- ・インドの方からみる日本人の特徴や、国民感情の違いなどの具体例があればよかったです。英語言語教育の日本とインドの指導法の違いを知りたい。(80代男性)
- ・日印友好を福知山地方でも進めるために、舞鶴で実施された行事の情報を出されたらどうか。(70代男性)

## 2. 実施時間帯はどうですか。

1. もっと早い時間帯がよい	0
2. ちょうどよい	18
3. もっと遅い時間帯がよい	0

※回答なし：1



## 【Q2】 今後にむけて

1. 今後「開講してほしい講座」「勉強してみたい・興味のあること」がありますか。どんな講座があれば参加してみたいですか。

※この質問についての回答結果は「全講座アンケート集計結果」の中にて後述する。

## 【Q3】 お住まいはどちらですか？

市内：15	市外：1
-------	------

※回答なし：3

## 【Q4】 この講座を何でお知りになりましたか？

1. ご案内	2. ホームページ	3. 新聞	4. 知人	5. その他
10	0	6	0	1

※回答なし：2

## 【アンケート回答者年代】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性	0	1	0	0	2	2	2	6	13
女性	0	1	0	2	1	1	1	0	6

【第2回 ～大学のあるまちづくり 市民公開講座～ 2012年度 成美市民大学】

1. 日時 2013年2月9日(土) 10:30～12:00
2. 場所 成美大学4号館 103講義室
3. テーマ 「私の指導法について」
4. 講師 成美大学 サッカー部監督(客員教授) 草木 克洋 氏
5. 受講者 36名
6. 内容



成美大学 サッカー部 草木克洋監督は、選手として高校卒業からヤンマーディーゼル株式会社、全日本代表に選出され、パナソニックガンバ大阪、京都パープルサンガを経てサッカー指導者に転身した。

サッカーとの出会いは10歳の時で、遊びから始まった。ゴールデンエイジ(即座の習得が可能な時期)と呼ばれる年齢に、サッカーと良い指導者にめぐりあえた。サッカー指導者になるとプロ指導者として、感覚でなく言葉で伝えなければいけないことに気付いた。指導者としては、元サッカー選手、サッカー指導者の副島博志さんから多くを学んだ。

チーム作りは、情熱を持ち、「規律と約束で成り立つチーム」、「全力で取り組む」、「細かいことにこだわる」、「再生させる・最後まで諦めない」、「全員が同じ方向を向いて戦う」ことを目標としている。

大学サッカーについては、大学生がまだ育成期間であることを念頭においている。このため、本学サッカー部においては、約束が存在し、例えばファールをしないことを徹底している。この結果、2012年度関西学生サッカー連盟リーグ戦で、最もファールが少なくなり、フェアプレー賞獲得につながった。

指導者の仕事は、「できないことをできるようにする」、「道先案内人(Facilitator)」である。そして、指導者に大切なものは、育てる気持ちと観察力である。選手には、誉めること、答えを言わずにヒントを与え考えさせることが大切であり、それには選手を観察する力が必要である。また、夢と情熱を持ち、協力し合い、失敗しても最後まであきらめず全力で取り組むことが重要である。現在、問題となっている体罰に関して、サッカーでは選手第一(プレイヤーズファースト)であり、選手の成長に体罰は不必要であるとのこと。「情熱を持って取り組むことが大切」と締めくくった。

## 7. アンケート集計結果

### 【アンケート実施概要】

受講者	36人	
性別	男性：30人	女性：6人
回答者	22人	
回収率	61.1%	



### 【Q1】「私の指導法について」について

#### 1. 内容はどうでしたか。

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
18	4	0	0	0

## [感想]

- ・指導法など勉強になりました。(40代男性)
- ・自分の人生や生き方に参考になることが多々あった。(60代男性)
- ・指導法について詳しく聞けたので満足です。(20代男性)
- ・指導方法を聞くことができ、内容も充実しておりよかった。(20代男性)
- ・監督の持論が詳しくわかりました。(40代男性)
- ・とてもわかりやすく、退屈することがなかった。(30代男性)
- ・指導哲学について聞けて良かった。(20代男性)
- ・とても内容が良かったです。(70代男性)
- ・社会全体に通じる話でおもしろかった。(50代男性)
- ・資料提供して頂けたらありがたいです。(50代男性)
- ・スライドの文字が小さい場面があった。講義内容はよくわかりました。(80代男性)
- ・どの組織にも共通する指導者(管理職)のあり方として、大事な話が聞けた。(60代男性)
- ・指導者のあり方について感銘を受けた。特に人の上に立つ人は、まず自分を磨くことが必要であるとよく理解できた。(80代男性)
- ・中学校でかかわった学生が草木監督にお世話になっており、お考えや指導方法(特に生き方)について聞くことができました、ありがとうございます。また、いじめ、体罰が問題になっていますが、その解決の方向もこの講座にあったと思いました。(50代男性)
- ・選手に伝えていることや指導者として大切にされていることをお聞きし、地域のサッカー指導者として大切に実践していきたいと思いました。(30代男性)
- ・スポーツだけでなく、子供の人間性も育てていかなければならないということがわかりました。しっかり子供と向き合い、日々の変化を見守っていききたいと思いました。(40代女性)
- ・草木さんの哲学的指導は、学生の自主性を取り入れていることが随所に感じられ、現在議論されている体罰問題のお話も含め、良い勉強をさせて頂きました。(80代男性)
- ・少年サッカーの指導者をしている自分自身の想いと共通している部分が多くあり、子どもたちに良きファシリテーターとして今後の活動に活かしていきたいと思いました。(20代男性)
- ・人生との関わりについて聞きたいと思っていたが、その方向に沿った内容で満足している。感謝のできる社会人に育てることは、大切なことであると思う。今はそれが欠如している。(60代男性)
- ・草木監督の自己体験から分析し組み立てられたサッカーの指導法は、全てのスポーツに共通するものと思われ、一種の指導哲学を生み出されている感がし、それぞれの指導者のテキストになると思った。(80代男性)
- ・サッカーからたくさん事を学ばれており、学生に良い影響を与えたいと思います。サッカー部のご活躍を期待しております。(50代男性)

## 2. 実施時間帯はどうですか。

1. もっと早い時間帯がよい	0	
2. ちょうどよい	19	
3. もっと遅い時間帯がよい	2	13:00、19:00

※回答なし：1

## 【Q2】 今後にむけて

1. 今後「開講してほしい講座」「勉強してみたい・興味のあること」がありますか。どんな講座があれば参加してみたいですか。

※この質問についての回答結果は「全講座アンケート集計結果」の中にて後述する。

## 【Q3】 お住まいはどちらですか？

市内：16	市外：3（綾部、京丹後）
-------	--------------

※回答なし：3

## 【Q4】 この講座を何でお知りになりましたか？

1. ご案内	2. ホームページ	3. 新聞	4. 知人	5. その他
11	0	5	1	3

※回答なし：2

## 【アンケート回答者年代】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性	0	4	2	2	4	3	1	5	21
女性	0	0	0	1	0	0	0	0	1

1. 日 時 2013年2月18日(月) 13:30～15:00
2. 場 所 成美大学4号館 103講義室
3. テーマ 「福知山の春を彩る『ふくちの春は雛荒らし』  
の取り組みとまちなかの活性化について語る」(パネルディスカッション)
4. 講 師  
コーディネーター: 成美大学経営情報学部 准教授 滋野 浩毅 氏  
パネリスト: 城下町を考える会 会長 大谷 勇 氏  
中村 邦夫 氏  
横川 知子 氏 (まいまい堂)
5. 受講者 31名
6. 内 容

“ふくちやま まちなか いまむかし” シリーズ1回目は、“まちなか”の現状を「特別講座」として、「城下町を考える会」から、会長の大谷勇氏、中村邦夫氏、横川知子氏をパネリストに迎え、成美大学の滋野浩毅准教授をコーディネーターにパネルディスカッションを行った。

「城下町を考える会」は、オープンミュージアム構想をもとに、平成11年から「ふくちのお宝展」を6年間、その後は「ふくちの春は雛荒らし」を開催している市民主導の任意団体である。

ディスカッションでは、各パネリストより、会の活動の歴史をたどりながら、お宝展の活動や作成したマップ・古い資料を実際に会場で回覧した。また運営に際しての苦労話や、「福知山から大江山が見えるのか」などといった興味深い取り組みなども紹介された。

平成25年で11回目を迎える「雛荒らし」は、お雛様を店舗(自宅)や場所を提供して展示し、その期間中は商店街で様々な催しを行っている。しかし、協力の依頼に行くと謙遜する方が多い。「福知山の人は意外に奥ゆかしく宣伝下手」など納得感の高い意見も出された。

福知山には、たくさんの「お宝」がある。中でも、「一時代の庶民の生活」そのものが「お宝」ではないか、そのお宝を外に発信することで地域を活性化することにつながるのではないか。また、元気な老人の知恵と技を活かしながら、若い人からもこのような取り組みに賛同し協力してもらいたいとパネリストからの意見があった。参加者からは「インターネットで広く発信してはどうか」という意見があがり、今後の活性化について意見交換がなされた。



## 7. アンケート集計結果

### 【アンケート実施概要】

受講者	31人	
性別	男性: 22人	女性: 9人
回答者	19人	
回収率	61.2%	



【Q1】「福知山の春を彩る『ふくちの春は雑荒らし』の取り組みとまちなかの活性化について語る」について

1. 内容はどうでしたか。

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
6	7	2	1	0

※回答なし：3

【感想】

- ・何も知りませんでしたので、面白く聞かせていただきました。(70代男性)
- ・今まで表面的なとしか知りませんでしたが、今日お話を聞かせていただき大変な活躍をされているんだなあと思いました。福知山には歴史や楽しい場所があるんだなあと思うと、来て良かったと思いました。(70代女性)
- ・講師の3名の方々のお話から、40年前の新町・アオイ通り・駅前の商店街を思い出し、あんな店やこんな店があったな…と本当に懐かしく思い起こしました。すでに次の代の店主の頑張りがすごく感じられ、大変ながらも福知山を活性化しようと頑張られているお姿やなんとなく知らされている宣伝物にもっと深く協力していかなければと思いました。続けることの大変さと大きく取り上げられる年々の成功例を励みに頑張っておられるメンバーに頭が下がりました。地域を元気に!!(70代女性)
- ・息の長い活動の間にはご苦労も多かったと思いますが、市民の協力が少ないことが次のステップに繋がらないとも思います。市街地の活性化のためには、商店街の方々の積極的な参加欲の掘り起こしが大切であると思います。今後の仕掛け等のお考えも少し聞かせて頂きたかった。お客様(見物人)の動向や、リピーターのお客様もいらっしゃるのか等もわかれば良かったと思います。(70代男性)
- ・面白かった。ここ15年程のまちなかづくりの経緯がよくわかった。(40代男性)
- ・司会の進行がパネルディスカッション向きでない。何の話しているのか最初わからなかった。(50代男性)
- ・少人数の中でも、人々に伝わることや内容的に貴重なものは市をも動かせる力があることに今さらに大きな成果だと思っています。(60代女性)
- ・以前から新聞等で「雑荒らし」のことは知っていたので今回もう少し関連付けがあるかなと思っていましたが、少し新しい情報に出会えませんでした。一市民として何とか情報発信の決め手が欲しいですね。一人一人が福知山の宣伝マンに!(60代男性)
- ・少人数制で取り組まれこれだけ長く続けられていることに、福知山の住民として深く感謝しております。(70代女性)
- ・雑言が多く理解しにくい発言が多かった。当日の資料(パネル紹介、プログラムなど)不足でよくわからなかった。(50代男性)
- ・この取り組みをされている方々のご努力を存じ上げていませんでした。この会の会員の方々への協力を考えるべきだと思いました。(80代男性)
- ・苦労されている様がよくわかりました。(60代男性)

2. 実施時間帯はどうですか。

1. もっと早い時間帯がよい	0
2. ちょうどよい	17
3. もっと遅い時間帯がよい	0

※回答なし：2



【Q2】 今後にむけて

1. 今後「開講してほしい講座」「勉強してみたい・興味のあること」がありますか。どんな講座があれば参加してみたいですか。

※この質問についての回答結果は「全講座アンケート集計結果」の中にて後述する。

【Q3】 お住まいはどちらですか？

市内：14	市外：2（綾部、舞鶴）
-------	-------------

※回答なし：3

【Q4】 この講座を何でお知りになりましたか？

1. ご案内	2. ホームページ	3. 新聞	4. 知人	5. その他
12	0	4	2	1

※回答なし：0

【アンケート回答者年代】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性	0	0	0	1	2	4	4	3	14
女性	0	0	0	0	0	2	3	0	5

【第4回 ～大学のあるまちづくり 市民公開講座～ 2012年度 成美市民大学

“ふくちやま まちなか いまむかし” ②】

1. 日時 2013年2月23日(土) 13:30～15:00
2. 場所 成美大学4号館 103講義室
3. テーマ 「福知山藩校の  
貴重な資料について語る」
4. 講師 福知山史談会 会長 山口 正世司 氏
5. 受講者 62名
6. 内容



成美大学メディアセンターには、創立者の西垣家が保管していた江戸時代、明治時代、福知山藩校「惇明館」等の資料を寄贈いただき「西垣家資料」として所蔵している。

この西垣家資料の中には、「惇明館蔵置書籍目録」に載せられ「福知山巒」と「惇明館之蔵書」朱印がある中国の『論語』、『書経』などの四書五経や『資治通鑑』、『春秋左氏伝』などの教科書類がある。

明治29年の大水害の際、当時惇明小学校の国語教師であった芦田恵之助が『丙申水害実況』の中で記録している通り、これらの教科書類の多くを失ったと思われていた。しかしこのように現在も残っていたのは大変貴重なことである。

その中でも、今回特に感激を覚えた一冊が、表紙に水害の泥がこびりついた、儒学者 佐藤一斎の『言志晩録』である。最終項には、福知山藩惇明館総督であった近藤善蔵の署名が残っている。

また、惇明館が輩出してきた先人の活躍、そして「知行合一」を目指した惇明館の実践的教育に関する様々な話、さらに福知山は「能」や「茶道」などの文化も盛んであったことなど、福知山の教育だけではなく文化の歴史についても話された。

今回この講演にあわせて、会場となった教室・メディアセンターにて西垣家資料の展示をした。

## 7. アンケート集計結果

### 【アンケート実施概要】

受講者	62人	
性別	男性：46人	女性：16人
回答者	43人	
回収率	69.3%	



### 【Q1】「福知山藩校の貴重な資料について語る」について

1. 内容はどうでしたか。

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
21	11	7	0	0

※回答なし：4

## 【感想】

- ・私事ではありますが、朗読をさせてもらっているの、その中で福知山の昔話を朗読していきたいなと思っ少しでも枝を伸ばせればと聞かせて頂きました。(60代女性)
- ・惇明館教科書類 661 冊の内容をもっと知りたいです。(70代男性)
- ・福知山市に明治以降大変な教育者がたくさんいたことを大いに誇りに思いました。もっともっと教えていただきたい。(80代男性)
- ・時間がとても足りません。(70代男性)
- ・難しいことはわかりませんが、惇明校がたくさん偉人に支えられていることが分かりました。「言志録」読んでみようかと思いました。(20代男性)
- ・時間が少なく、テーマがぼやけてしまったので残念。このテーマで1時間～1.5時間では講師に対し失礼な感じがする。(60代男性)
- ・惇明館教科書類が水害で流出したと思われていたのが、いかにして西垣家に於いて保管されていたのか、その経緯について知りたい。ただ歴史を知るだけでなく、それを今後の福知山にいかんにか生かしていくかも考えていくことが大切。(70代男性)
- ・豊富な知識に感服しました。(60代女性)
- ・気楽な話し方で楽しく学ばせて頂けた。(70代女性)
- ・時代の広がり、人物のつながりが感じられる。(70代女性)
- ・藩校から小学校への移行など詳しく聞かせていただいた。(60代男性)
- ・知識と情熱に溢れた先生の話は大変面白かった。福知山の歴史がよくわかった。(70代男性)
- ・幅広くて全く知らないことばかりで、楽しく拝聴いたしました。論語の内容とか、日経連載の黒書院の六兵衛とかの内容などにも通じる話もあり、楽しかったです。(70代男性)
- ・山口先生独特の喋り口で楽しいひと時でした。福知山で育った立派な人たちが沢山いることに誇りを感じました。(80代男性)
- ・福知山藩の古い貴重な資料に基づいたお話から、成美大学に結びつく所があることを知りました。また、私の義父が福商時代柔道教師として勤め、自宅2階には6人の学生さんを預かり義母が食事一切のお世話をしていた事などを聞いていた為、なつかしい60年前の話思い出しておりました。(70代女性)
- ・教育のあり方を聞かせていただきました。(80代男性)
- ・小さな藩が藩主の想いで日本に様々な影響を与えたこと。(男性)
- ・レジュメにある漢文の解説をして欲しかった。参考資料に対する一つ一つの説明が聞きやすかった。(70代男性)
- ・楽しくてわかりやすい。また色々とお話が聞きたいです。(70代女性)
- ・惇明館から惇明校への転移と共に輩出された有名者の文書と、その方々の実績を驚きと共に勉強させて頂きました。福知山藩の由来等に改めて感動し勉強させて頂きました。(80代男性)
- ・惇明館が素晴らしい人材を育てた学校であることがよくわかりました。また、福知山の文化風土のレベルの高さに感動しました。(60代男性)
- ・もう少しポイントを絞って踏み込んで欲しかった。(60代男性)
- ・資料全体の深化については焦点をしばってもらって、もう少し聞きたいものがあつた。講義から我々の先輩のすばらしさがわかつた。誇りに思えるこの人たちの思いが後世に伝わっているのかと疑問に思うし、またまちづくりの方向の一つではないかとも思う。(60代男性)
- ・話の脈絡が少しわかりにくかつた。(60代男性)
- ・自分の予備知識がなかつた。(60代男性)
- ・惇明館の歴史について改めて考える機会でした。近藤先生の話がとても印象的です。(20代男性)
- ・少し内容が難しいところもあつたが、教育の話について興味深く聞くことができた。(30代男性)
- ・昔の水害の様子や惇明館の頃の話など、貴重な話を沢山聞かせていただき勉強になりました。ありがとうございます。(20代女性)
- ・惇明校に勤務する者として、歴史と伝統をひひしと感じました。芦田恵之助先生の教育愛の偉大さを考えられました。「学ぶだけではなく行動がともなっているのが惇明校」という言葉は心に残りました。(50代男性)
- ・歴史は弱いですが、福知山の歴代藩主が教育に注いだ熱意の一端が理解できました。教育の街のルーツが理解できました。(70代男性)
- ・もっともっと時間を頂けたら内容が充実して聞けたと思ひ、少しもったいなく改めて受講したいと思ひました。(60代女性)
- ・内容は素晴らしい事を申されていたのだが、やや話の整理が足りない感じがした。話題が多岐に過ぎて良い面もあるが、もっと話を整理して要点をしっかりと伝える話にしてほしかつた。でも参考になる良い話が断片的に話され勉強になった。(80代男性)
- ・歴史が身近にあることが感じられました。(60代男性)
- ・短時間で見てわかるような文書にまとめてほしかつた。(50代男性)
- ・福知山に住んでいても何も知らない過去の歴史を山口先生のひとつひとつのお話の中で「へえーっ！そんなこと？」と今更ながら振り返った次第です。奥の深い良い講座でした。(60代男性)

## 2. 実施時間帯はどうですか。

1. もっと早い時間帯がよい	1
2. ちょうどよい	38
3. もっと遅い時間帯がよい	0

※回答なし：4

## 【Q2】 今後にむけて

1. 今後「開講してほしい講座」「勉強してみたい・興味のあること」がありますか。どんな講座があれば参加してみたいですか。

※この質問についての回答結果は「全講座アンケート集計結果」の中にて後述する。

## 【Q3】 お住まいはどちらですか？

市内：33	市外：5
-------	------

※回答なし：5

## 【Q4】 この講座を何でお知りになりましたか？

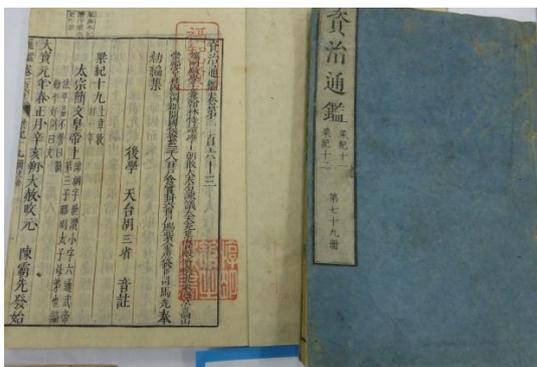
1. ご案内	2. ホームページ	3. 新聞	4. 知人	5. その他
27	0	7	7	2

※回答なし：0

【アンケート回答者年代】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性	0	2	1	0	2	13	8	5	31
女性	0	1	0	0	0	5	5	0	11

※回答なし：1



「福知山鬘」と「惇明館之蔵書」の朱印がある  
『資治通鑑』



(左)『言志晩録』  
(右)『一斎先生文集』

1. 日 時 2012年3月2日(土) 13:30～15:00
2. 場 所 成美大学4号館 103講義室
3. テーマ 「福知山の風景や歴史をデジタル化しよう  
(デジタルアーカイブスのすすめ)」
4. 講 師 成美大学経営情報学部 教授 芦田 信之 氏
5. 受講者 41名
6. 内 容



近年、情報通信技術の発達により、様々な情報媒体のデジタル化が可能になったばかりでなく、世界中の位置情報の把握が可能になり、居ながらにして世界旅行を体験するようなことも可能になった。また、ドライブレコーダーやライブカメラのように日常生活をデジタル記録することで安心安全に役立てたり、運動量や食べたものを記録し、蓄積することで日頃の健康管理に役立てたりすることも容易になってきている。

「デジタルアーカイブ」という言葉を耳にしたことがある方もおられるかと思うが、「アーカイブ」とは「書庫」の意味であり、「デジタルアーカイブ」とは、文書や映像、写真、音声等の資料をデジタル化して保存することである。資料は蓄積されてくると、その保管場所に困るばかりでなく、経年劣化が進んでいく。そこで資料をデジタル化して保存することによって、保管場所や劣化の問題が解決されるばかりでなく、アクセスが容易になり、写真と音声と位置情報を組み合わせるといったような、それらを用いた新しい表現が可能になる。

その活用方法として、福知山の昔の写真や歴史資料、あるいは家族の写真等をデジタル化して保存し、ビデオのように編集して楽しむ事例が紹介された。確かに、デジタル化とインターネット上へのアクセスの容易化に伴って発生する著作権や肖像権の問題といったことも残されているが、デジタルアーカイブとその活用によるさまざまな楽しみ方や無限に広がる可能性について、受講者の興味関心は高く、活発な質疑応答もなされた。

記録を残していくことは、単に昔を懐かしむばかりでなく、歴史を後世に伝えていくために大きな役割を果たす。今はその利用方法がわからなくても、その記録は後に役に立つかもしれない。

## 7. アンケート集計結果

### 【アンケート実施概要】

受講者	41人	
性別	男性：33人	女性：8人
回答者	31人	
回収率	75.6%	



### 【Q1】「福知山の風景や歴史をデジタル化しよう（デジタルアーカイブスのすすめ）」について

#### 1. 内容はどうか。

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
18	7	4	1	0

※回答なし：1

**[感想]**

- ・地域の行事や風物を残していきたいと考えていたところだったので、今日の内容は参考になった。(60代男性)
- ・家に帰ったら早速パソコンで見てみます。楽しみが多くなりました。(60代女性)
- ・デジタル化の必要性を強く感じました。今後デジタル化を含めて、個人の情報管理を更に進めたいと思います。(60代男性)
- ・最先端のデジタル関係手法について、私たちはまだまだその域には達していないことについて認識を新たに致しました。もっと勉強しなければなりません。(80代男性)
- ・これからの社会はまさにデジタル化時代で、あらゆる資料をデジタル化して残しておけば良い史料ともなるので、インターネットやデジタルアーカイブスで多角的に資料を作る必要を感じた。(80代男性)
- ・楽しいです (60代女性)
- ・多方面にわたって説明していただき、初心者向けにわかりやすいお話で結構でした。ただ、デジタル化についての具体的なやり方のお話ではなく残念です。(50代男性)
- ・私自身、自分の興味のある情報しか見ようとしないので、一番身近な福知山についてこれからもっとアンテナを張って知らなければいけないと思いました。実際に画像や映像を見ながらの講演はとても聴きやすかったです。(20代女性)
- ・私は旅行の記録を紙媒体として残す習慣があるが、デジタル化によって四季とりどりの様子が一覽されるようなシステムを楽しめたらいいなと思った。(70代男性)
- ・デジタル化した作品を見ることにより、昔の福知山の様子を懐かしく思い出しました。とてもおもしろかったです。(60代男性)
- ・新しい今日、将来の情報・知識・思考のために非常に重要なことと思います。(70代男性)
- ・デジタル化の有用性が少し分かりました。(50代男性)
- ・記録を文字だけでなく映像で残すことにより、より具体的に目で見てわかりやすくなることを改めて教えてもらった。大変興味深く聞かせて頂いた。(60代男性)
- ・ペーパーレスの時代に自分の街がデジタル化されて楽しみが増加します。(70代男性)
- ・高齢になって自分の通った道をデジタル化したらいいなと感じました。市民大学でいろいろヒントを与えて頂いて大変うれしく思っています。(80代男性)
- ・今・昔をもっと追求してみたい。(80代男性)
- ・興味深い資料や映像と共に、新しい分野の可能性を感じた。参加者は年配の方が多く、どれだけ講座を理解でき活かせるかそれが少し心配。(50代男性)
- ・シニア世代は情報を利用していない。多くの情報を入手する方法を知っていない方々が多いと思われる。私はこれからもパソコンなどを通して収集し活用していきたい。(60代男性)
- ・昔の新聞スクラップは茶色に変色し、活字も細かく、そのまま保存するにも場所が狭くなり、デジタル化で保存できないかと考えていたので、非常に参考になりました。同様に、写真のCD化も参考になりました。(70代男性)
- ・デジタル化のすばらしいお話でしたが、一般の方々がそれらをフルに活用するのはいかになものかなと思う。庶民は庶民です。(60代男性)
- ・現在、自分がそこへ行かなくても居ながらにして現地の様子が分かるということが画期的で、良い勉強になった。(80代男性)

**2. 実施時間帯はどうですか。**

1. もっと早い時間帯がよい	0
2. ちょうどよい	29
3. もっと遅い時間帯がよい	0

※回答なし：2



**【Q2】 今後にむけて**

1. 今後「開講してほしい講座」「勉強してみたい・興味のあること」がありますか。どんな講座があれば参加してみたいですか。

※この質問についての回答結果は「全講座アンケート集計結果」の中にて後述する。

**【Q3】 お住まいはどちらですか？**

市内：23	市外：3（篠山市、綾部市、兵庫県）
-------	-------------------

※回答なし：5

**【Q4】 この講座を何でお知りになりましたか？**

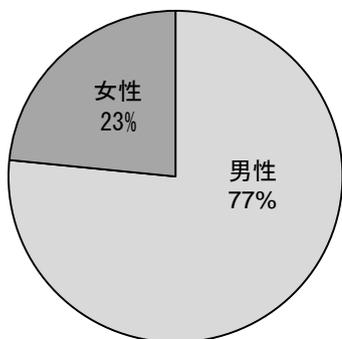
1. ご案内	2. ホームページ	3. 新聞	4. 知人	5. その他
18	1	4	4	0

※回答なし：4

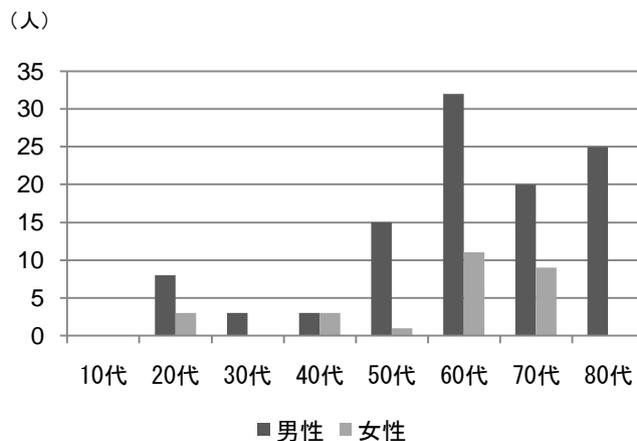
**【アンケート回答者年代】**

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男 性	0	1	0	0	5	10	5	6	27
女 性	0	1	0	0	0	3	0	0	4

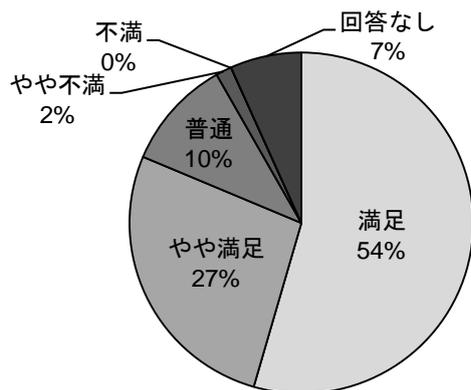
1. 受講者性別



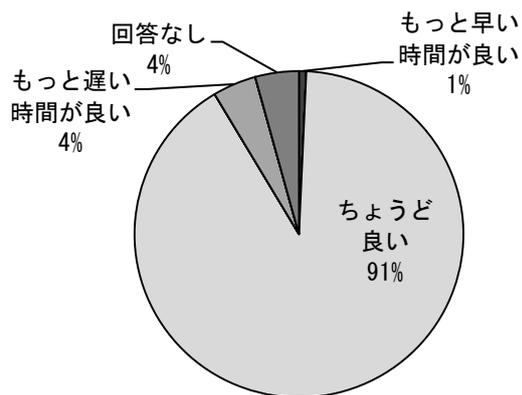
2. アンケート回収者年代



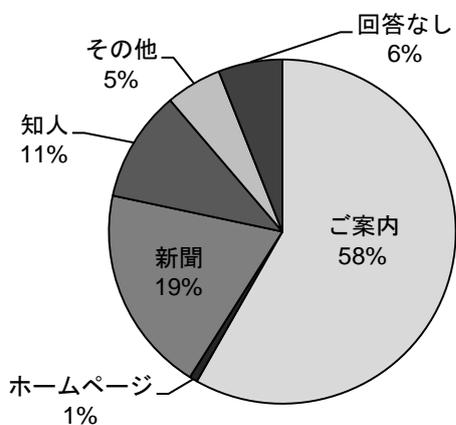
3. 内容について



4. 時間について



5. この講座を何でお知りになりましたか



➤ 今後にむけて

今後「開講してほしい講座」「勉強してみたい・興味のあること」がありますか。  
どんな講座があれば参加してみたいですか。(全アンケートより)

- ・栄養について
- ・起業、ビジネスについて
- ・インド、アメリカ、中国以外の国の講座
- ・日本と関わりのある外国の講座
- ・日本古典文学
- ・古文書の講座
- ・地域活性化の活動の実践者など、地域を元気にする取り組みについて
- ・日本の歴史関係、国際関係（外国人の講師）
- ・実技も含めたサッカーコーチング
- ・JFA 公認C級コーチのライセンスを取得できる講座
- ・サッカーの指導
- ・社会問題、国際問題
- ・今後の財政政策について、国家財政のあり方や「租税」について
- ・福知山の歴史、民俗などについて
- ・福知山の将来について（如何にあるべきか、どんなことを実施すべきか等）
- ・自治体職員の意識改革について市民を含めて議論でき、お互いが理解し合える講座
- ・教育、科学について
- ・人材育成
- ・観光（まちづくり）について
- ・様々な角度からみた街の活性化について
- ・街の活性化について市民参加も含めて具体化していく講座
- ・福知山の発展についての地理的・経済的（産業）分析に関する講座
- ・福知山の歴史や、福知山に関係のあること
- ・中高年のリタイヤ後の生活姿勢指針となる講座
- ・スポーツ指導と教育、スポーツに携わる指導者の話
- ・考古学、芸術（絵画・陶芸等）
- ・英会話教室（日常生活編）
- ・福知山関連の人物や歴史等
- ・福知山周辺、丹波の個人の業績等を時系列でみる講座
- ・郷土史や福知山の現状と今後の展望等
- ・福知山の郷土について
- ・福知山市の植物
- ・成美学園の歴史や福知山城の歴史等、福知山に関する歴史・地理
- ・朽木藩主について
- ・明智光秀の妻子のこと
- ・パソコン講座（ブログ、パワーポイント）
- ・デジタル化の方法についてのパソコン操作の講座
- ・福知山の昔の映像（いろいろな場所の比較等）
- ・福祉関係について（特に認知症など）
- ・老化の原因等を科学的にみる講座
- ・眠りと健康、運動と健康について
- ・若い年齢の方も参加したいと思われる講座



# 成美大学で1日国際交流してみよう!!

開催日：平成24年12月1日（土） 会場：成美大学 4号館

●時間：10:00～11:30

～大学のあるまちづくり 市民公開講座～

## 2012年度 成美市民大学 国際交流

この公開講座は、市民の皆様の生涯学習の推進と共に、尚一層大学を身近に感じていただくことをめざし、福知山市との共催で開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

### 「日本とインド、永遠の友達!!」



#### 【講師】チャイタンニャ・バンダーレ

歴史を振り返って見ても日印友好の事項はたくさんあります。日本とインドはお互い友好国として大切にしてきました。

2012年は、日印国交60周年記念としての大切な年です。発展中の経済状況にあるインドと技術力が進んでグローバル化の日本が協力すれば、世界政治の中で重要性を果たすでしょう。

これからの日本とインドの交流、さらに文化の違い等をお話します。



#### 【講師略歴】

1978年、インド中央マハラシュトラ州出身。インド国立海洋研究所で海洋生物学の研究をした後、2006年に文部科学省奨学金留学生として来日。今年3月まで京都大学舞鶴水産実験所で海洋生物学を研究。現在も舞鶴市に在住。京都大学大学院博士課程にて研究を続けている。

●受講料：無料

●定員：100名

●申込期間：講座前日まで

●申込方法：氏名、電話番号を明記の上  
電話・FAX・Eメールにて  
お申し込みください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

成美大学地域活性化センター

〒620-0886 福知山市字堀 3370（西小谷ヶ丘）

TEL:0773-24-7100 FAX:0773-24-7170

E-mail: regional@uv.seibi-gakuen.ac.jp

受付時間：9:00～17:00（土日祝日除く）

主催：福知山市・成美大学

●時間：13:00～15:00頃

## 国際交流発表会



この発表会は、市民と外国人住民の相互理解・交流の促進を目的に開催します。

市民と外国人住民のみなさんから「日本・福知山・外国で経験し、感動したこと・感じたこと」

について発表していただきます。発表をする人・聞く人にとっても、新たな視点を与えてくれる良い機会になると思いますので、ぜひ参加してください。

●発表者：市民・外国人住民 4人(予定) (1人約20分発表していただきます。)

※発表後、発表者揃っての質問タイムを設ける予定です。

聞きたいことや感じたことを質問してください。

●参加料：無料

●申込み：不要

【問い合わせ先】〒620-8501 福知山市字内記 13番地の1（福知山市国際交流ネットワーク会議事務局）

TEL:0773-24-7033 FAX:0773-23-6537 8:30～17:15（土日祝日除く）

主催：福知山市国際交流ネットワーク会議



# 2012年度 成美市民大学

この公開講座は、市民の皆様の生涯学習の推進と、より一層大学を身近に感じていただくことを目指して福知山市との共催で開催します。多くの皆様のご参加を、お待ちしております。

- 開催日：2月9日（土）
- 時間：10：30～12：00
- 会場：成美大学4号館
- テーマ：「私の指導法について」
- 講師：成美大学サッカー部  
監督（客員教授）草木 克洋



「サッカーは人生の学校である」と言われているように、様々なチームに関わりながら得た経験を踏まえ、私のチーム作りを中心にお話いたします。

また、質問なども多くお聞きし、共に成長できればと考えております。サッカーに限らず様々なスポーツ指導に興味をお持ちの方、是非ご参加ください。

## 講師略歴

1962年 大阪府生まれ・京都府出身

1981年 洛南高等学校卒業

### 【選手】

全日本ユース代表、U-23 日本代表、

全日本代表（1989～1991）

1981年 ヤンマーディーゼル株式会社（11年間在籍）

1992年 パナソニックガンバ大阪に移籍

1994年 京都パープルサンガに移籍（1995年現役引退）

### 【主な指導歴】

1998年 佐川急便(株)大阪支社 サッカー部監督

2001年 (株)サガン鳥栖 強化部長

2002年 (株)サガン鳥栖 トップチームコーチ

2003年 JFL アローズ北陸（富山） 監督

2007年 関西国際大学 サッカー部監督（2012年1月まで）

### 【ライセンス】

・財団法人日本サッカー協会 S級ライセンス

・47FA指導者養成インストラクター



- 受講料：無料
- 定員：100名
- 申込期間：講座前日まで
- 申込方法：氏名、電話番号を明記の上  
電話・FAX・Eメールにて  
お申し込みください。

## 【お申し込み・お問い合わせ先】

成美大学地域活性化センター

〒620-0886 福知山市字堀 3370（西小谷ヶ丘）

TEL:0773-24-7100 FAX:0773-24-7171

E-mail: regional@uv.seibi-gakuen.ac.jp

受付時間：9：00～17：00（土日祝 除く）

主催：福知山市・成美大学

# 2012年度 成美市民大学【特別講座】

福知山市と成美大学が共催する「成美市民大学」、2月～3月は“ふくちやま まちなか いまむかし”シリーズとして計3回にわたって“まちなか”をテーマとします。今回は特別講座として福知山市のまちづくりに取り組まれている方々をお迎えしますので、ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしています。

入場  
無料

平成25年2月18日(月)  
13:30～15:00 成美大学 4号館

## パネルディスカッション

「ふくちの春は雑荒らし」の取り組みと  
まちなかの活性化について語る。

福知山の春を彩る



城下町を考える会の皆様と「ふくちの春は雑荒らし」の様子

コーディネーター **滋野 浩毅 氏**  
(成美大学経営情報学部 准教授)

パネリスト **大谷 勇 氏**  
(城下町を考える会 会長)

**中村 邦夫 氏**  
(城下町を考える会)

**横川 知子 氏**  
(まいまい堂・城下町を考える会)



現在、福知山のまちなかでは、お城周辺の商業施設ゆらのガーデンのオープンや広小路通りのアーケードの撤去と景観整備といった、賑わいづくりにむけた事業が進められていますが、そこからさかのぼること10年前から、「城下町を考える会」の皆さんが、マップ「タイムスリップ 稲荷めぐり」やガイド「福知山 おもしろ百景」の作成、イベント「ふくちの春は雑荒らし」の開催といったまちなかを歩くことで地域資源の再発見を促すような取組を続けてこられました。こうした、福知山のまちなかを元気にする担い手の皆さんに、まちなかの現状や想い、取り組む中で経験した喜びや苦勞、これからのまちなかのあり方や、一緒に活動したい人たちへの呼びかけ等をざっくばらんに語っていただきながら、みなさんと“まちなか”について考えたいと思います。

- 受講料 : 無料
- 定員 : 100名
- 申込期間 : 講座前日まで
- 申込方法 : 氏名、電話番号を明記の上  
電話・FAX・Eメールにて  
お申し込みください。

### 次回予定

ふくちやま まちなか いまむかし シリーズ

2月23日(土) 第2回「福知山藩校の貴重な資料について語る」  
13:30～15:00 講師：福知山史談会 会長 山口正世司 氏

3月2日(土) 第3回「福知山の歴史をデジタル化しよう  
(デジタルアーカイブのすすめ)」  
13:30～15:00 講師：成美大学 教授 芦田信之

### 【お申し込み・お問い合わせ先】

成美大学地域活性化センター  
〒620-0886 福知山市字堀 3370 (西小谷ヶ丘)  
TEL:0773-24-7100 FAX:0773-24-7171  
E-mail: regional@uv.seibi-gakuen.ac.jp  
受付時間: 9:00～17:00 (土日除く)

主催：福知山市・成美大学



# 2012年度 成美市民大学

福知山市と成美大学が共催する「成美市民大学」、2月～3月は“ふくちやま まちなか いまむかし”シリーズとして計3回にわたって開催しています。第2回目は、ふくちやまの“むかし”に焦点をあて、貴重な資料をもとにお話し頂きます。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしています。

## 福知山藩校の 貴重な資料について語る

- ◆ 日時：平成 25 年 2 月 23 日(土) 13:30～15:00
- ◆ 会場：成美大学 4号館
- ◆ 講師：福知山史談会 会長 山口 正世司 氏



### —講師略歴—

福知山市在住。  
福知山史談会会長、丹波福知山  
明智光秀公研究会会長、福知山  
市文化財保護審議会委員、愚中  
会幹事。

福知山市史第三巻には「教育」の節があり、惇明館に関しても詳しく書かれていて、今のところ加えることはほとんどないのだが、この度、明治 29 年の大水害で惇明校が被害を受けた時に無くなったといわれる「惇明館蔵置書籍目録」に載せられている本が数十冊も発見された。しかも、水害の伝説にあるように表紙には泥がこびりついた本もあるのである。よく残ってくれた、まことに貴重な本達である。

その上、歴史が生きて動くような感激を覚える一冊を見た。それは『言志晩録』（佐藤一斎先生著）の表紙裏に「嘉永六年（略）東都訪一斎先生得此冊 五十六叟 睡翁近藤善藏」と筆墨で書かれているのではないか。近藤先生は、惇明館総督として活躍されている。この度、成美大学メディアセンターにこれらの本が一括所蔵されていることが、明らかになった。

これらの本達を確かめ深める仕事の入口において惇明館のあれやこれやを語りたい。  
【講師談】

ふくちやま まちなか いまむかし  
シリーズ

次回予定

3月2日(土) 第③回「福知山の歴史をデジタル化しよう  
13:30～15:00 (デジタルアーカイブスのすすめ)」

講師：成美大学 教授 芦田信之

- 受講料：無料
- 定員：100名
- 申込期間：講座前日まで
- 申込方法：氏名、電話番号を明記の上  
電話・FAX・Eメールにて  
お申し込みください。

【お申し込み・お問い合わせ先】  
成美大学地域活性化センター  
〒620-0886 福知山市字堀 3370 (西小谷ヶ丘)  
TEL:0773-24-7100 FAX:0773-24-7171  
E-mail: regional@uv.seibi-gakuen.ac.jp  
受付時間：9：00～17：00 (土日除く)

主催：福知山市・成美大学

# 2012年度 成美市民大学

福知山市と成美大学が共催する「成美市民大学」、2月～3月は“ふくちやま まちなか いまむかし”シリーズとして計3回にわたって開催しています。第3回（最終回）は時代と共に移り変わって行く福知山の風景や歴史のデジタル化をテーマに学びます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

● 3月2日(土)13:30～15:00

会場 成美大学4号館



## 「福知山の風景や歴史をデジタル化しよう (デジタルアーカイブスのすすめ)」

【講師】 成美大学経営情報学部 教授 芦田 信之



【講師略歴】

大阪大学医学部助教、甲子園大学教授を経て、2010年4月より成美大学教授。生物学、診療技術論など担当。2012年地域健康福祉センター所長就任。情報化による地域の活性化も視野に入れた研究を行っている。福知山市出身。

この十年で、携帯電話やスマホはカメラ付があたりまえになり、いつでもどこでも気軽に日常生活を撮ることができるようになった。カーナビなどGPSを使って、今どこにいるのかすぐにわかるようになってきた。気がつけば、いろいろな身の回りの生活道具がIT化されている。

世の中、社会、風景は移り変わっていくが、記録や資料として残すことができる。残すものが多くなれば、取り出しも保管もたいへんだ。そこで、記録や資料をデジタル化すれば、必要な時にすぐに取り出すこともでき、また保管スペースも必要なくなる。家に眠っている昔の風景写真や、現在のまちなかのイベントや日常風景を、デジタル化し将来に伝えよう。さあデジカメや携帯、スマホを片手に、まちなかへ出よう。

【講師談】



- 受講料 : 無料
- 定員 : 100名
- 申込期間 : 講座前日まで
- 申込方法 : 氏名、電話番号を明記の上  
電話・FAX・Eメールにて  
お申し込みください。

- 【お申し込み・お問い合わせ先】
- 成美大学地域活性化センター
- 〒620-0886 福知山市字堀 3370 (西小谷ヶ丘)
- TEL:0773-24-7100 FAX:0773-24-7170
- E-mail: regional@uv.seibi-gakuen.ac.jp
- 受付時間: 9:00～17:00 (土日除く)

主催: 福知山市・成美大学

## まとめ

2012年度は前年度と同じく福知山市との連携による「～大学のあるまちづくり～市民公開講座」5回の公開講座を開催した。内容としては、前年度の「ふくちやま 魅力ある人づくり・まちづくり」に続き、後半3回を「ふくちやま まちなか いまむかし」シリーズと位置付け、市民に人気ある内容とした。

成美大学の教員による講演2回その他、外部講師を依頼した3回では、舞鶴で海洋生物学を研究しているインド出身のチャイタンニャ・バンダーレ氏、市内の中心市街地活性化に取り組む「城下町を考える会」の大谷勇会長・中村邦夫氏・横川知子氏、「福知山史談会」の山口正世司会長を招き、地域の人材資源をクローズアップできたと考えている。

受講者数を見ると、前年度の延べ236名に対して今年度は延べ205人と少しだけ減っているが、年度後半の寒い期間で悪天候が重なったことが理由の一つとして考えられる。

受講者の評価については「満足」「やや満足」で全体の81%を占めている。時間についても91%が「ちょうどよい」時間と答えており、受講者のニーズに合った歴史・文化・教養の講座を開催できている。

今後の課題として、ここ1～2年で急速に普及してきたfacebook等のSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）を活用した低コストでの告知ツールが確保できれば、より円滑な情報提供が可能となるので、「facebook 勉強会」等を一つの講座として実施し、その後の受講者層として取り込む必要があるかも知れない。そのことが結果的に「若い年齢層」を開拓していくことにつながる可能性もある。

受講者層の拡大に取り組みながら、今後とも地域の様々なニーズを踏まえた公開講座を実施していきたい。



～大学のあるまちづくり 市民公開講座～ 2012年度 成美市民大学  
大学連携 市民公開講座（緊急雇用創出事業）報告書

発行 2013年3月

編集 成美大学

京都府福知山市字堀 3370（西小谷ヶ丘）

TEL : 0773-24-7100 FAX : 0773-24-7171